

目標達成計画

作成日: 令和 4年 6月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 ・ 23	長い人生を送ってきた利用者は今グループホームで人生の最後の日々を暮らしている。子供の頃の仲良し、近所に住んでいた人、仕事仲間、趣味の仲間などに一度会いたい。また、生まれた家、もう一度行ってみたい。こうした「もう一度会いたい人」、「もう一度行ってみたいところ」への利用者の思いを実現することが求められる。 また、その人らしい暮らしを支援するためには、利用者がどこで生まれ、子供時代を過ごし、どんな人生を送ってきたかを把握することが欠かせない。そのための情報が求められる。	・利用者の思いを聴き取り、生活歴を把握する。 ・利用者の生活歴を把握し、慣れ親しんだ場所への外出を計画する。	・新規入所者様に対して、契約時にセンター方式のA-4、B-1、B-2、B-3シートをご家族に渡し、入居時に記載、持参して頂くことを継続していく。 ・利用者からの聴き取りを中心にアセスメントを行い、ニーズに応じた計画を立案する。 ・感染対策を十分に行ったうえで、外出ができる状況になった際には、計画を実施する。 ・外出に際しては、ご家族の協力が得られるよう、説明を行う。	12ヶ月
2	26	介護計画の実施記録には、職員が実施したこと、発言したことを書いている。その介護に対する利用者の反応、つまり表情、行動、発言は書かれていない。介護計画の評価の根拠にならない。	・記録の書き方について研修会を開催する。 ・内部、外部研修への積極的な参加を促す。 ・支援経過記録、モニタリングに活かす。	・利用者の反応や表情、言動等を記録に残し、再アセスメント、モニタリングに活用する。 ・記録の書き方について研修会や資料にて再確認する。	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。